

元・小型動力ポンプ付積載車仕様書

神 栖 市

小型動力ポンプ付積載車仕様書

第1章 総 則

- (1) この仕様書は、神栖市（以下「市」という。）が整備する小型動力ポンプ付積載車（以下「積載車」という。）のシャーシ及び艤装、小型動力消防ポンプ、その他、これに関する事項について定める。
- (2) 積載車・小型動力消防ポンプの規格は、本仕様書、承認図によるもののほか各種の関係法規に適合するものとし、且つ、積載車においては、茨城県公安委員会及び陸運支局の検査に合格し、新規登録手続きを完了した緊急自動車であること。

第2章 仕 様

1. シャーシ

- (1) 車体の形状は、ダブルキャブ型トラックであること。
- (2) 車両の形状は、4ドアキャブオーバー・ダブルシートであること。
- (3) ホイールベースは、2,000mm以上とする。
- (4) 乗車定員6名であること。
- (5) 総排気量は、3,000cc以下であること。
- (6) 車両総重量は、5,000kg未満であること。
- (7) 車輛の形状（ガソリン・最大積載重量1,000kg以上・二輪駆動）
- (8) トランスミッションは、オートマチックとすること。
- (9) タイヤ（スペアタイヤを含む）は、ホイール付オールシーズンスタイヤを装着すること。
- (10) スペアタイヤ（ホイール付）取付け装置を有すること。
- (11) 泥除け（全輪取付）すること。
- (12) サンバイザーを運転席、助手席に取り付けること。
- (13) サイドバイザーを運転席、助手席、後部席左右側ドア上部に取り付けること。
- (14) タイヤチェーン式を積載すること。
- (15) 冷暖房装置は、シャーシ仕様（エアコン装備）とする。
- (16) パワーウィンドウ装備すること。
- (17) ラジオ・時計は、シャーシ仕様とすること。
- (18) ステアリングは、パワーステアリングとすること。
- (19) フォグランプは、ヘッドライト一体型、又はバンパー埋め込み型とすること。
- (20) 路肩灯を左右各1個（LED製）装備すること。
- (21) メッキ製のグリルとすること。
- (22) メッキ製のミラーカバー、ミラーステー、アンダーミラーカバーとすること。
- (23) ドアーミラーは、電動格納式ミラーとすること。
- (24) キャブ内天井中央部に埋込式LED室内灯を取り付けること。
- (25) バックギア連動の車両後退警報ブザーを設けること。
- (26) 車両バッテリーが充電できるように、キャブ内後部座席下部にバッテリー管理器（すばら充電器マグネットコード付き）を取り付けること。また、バッテリー管理器用の100Vコンセントはマグネット式とし、キャビン右側（運転席側）に取り付けること。

2. ポンプ積載部分等

- (1) 積載用小型動力ポンプ1台を積載できるよう艤装する。
(積載方法については、当市担当者と十分に協議をすること。)
- (2) 積載装置は、電動昇降装置〈別添2仕様〉を荷台後部中央に取り付け、走行中の振動その他により、移動、破損等の生じないように安全確実に固定できるもので、且つ容易に積み降ろしができる構造であること。また、活動中に排水された水が荷台に溜まることの無いよう排水できる構造とすること。

3. 小型動力ポンプ

小型動力ポンプの仕様は〈別添1〉仕様のとおりとする。

4. キャブ内

- (1) 座席は、シャーシ標準品とし、防水シートカバーをつけること。
- (2) キャビン内後部座席の下部に収納ボックスを設けること。
- (3) 音声合成装置搭載電子サイレンアンプ、マイク、CDプレーヤー、ラジオ等をダッシュボードもしくはその近辺に取り付け、標識灯、照明灯のスイッチを運転席付近の操作しやすい場所に取り付けること。各々のスイッチには名称を表示すること。
- (4) 運転席より容易に操作できる位置に、車体バッテリーとの電流を断つメインスイッチを取り付けること（ACC連動可）。なお、周囲を塗色するなど識別しやすくすること。さらに、「切」の状態でも時計及びシャーシ側に不具合が発生しないこと。
- (5) 前後席に、フロアマット（ゴム製）を敷くこと。
- (6) 後部席前方に、手すり棒を取り付けること。
- (7) 後部席後方に、ヘルメット等を掛けるダブルフックを6箇所取り付けること。また、キャブ背部面の構造が、標準品でガラス製窓の場合、衝撃損傷を考慮すること。
- (8) 無線受令機関係は現在使用の車両から機器を取り外し、新規車両の助手席前方付近の取扱いのしやすい箇所に取り付けること。〈移設〉
- (9) ドライブレコーダーを取付けること。電源の接続は、車載バッテリーからの配線とすること。
- (10) 室内に書類（ゼンリン地図）用のボックスを設ける。（後部座席前側）
- (11) 充電器用のAC100V用電源コンセントを取り付けること。（当市担当者と十分に協議をすること。）

5. ボディー関係

- (1) ボディー左右を、タイヤウエル（荷台のえぐり部分）の高さまで切断する。
また、タイヤウエルの後ろを改造し、75mm×6mの吸管を巻き上げ積載できる構造とし、金具のあたる部分には縞鋼板やアルミ材等の保護材を張る。上部は縞鋼板を張る。
- (2) 荷台両側に側板を設け、左右前方部にバーハンドル式シャッター付収納庫を設ける。バーハンドル式シャッターの開口部を設け、左側は一段収納とし、内部にダブルフックを6箇所取り付け、防火衣等を収納できる構造とすること。右側は上下二段収納とし、ポータブルライト（三脚付）等の資機材を収納できる構造とすること。

各シャッター付収納庫内にはシャッターと連動の照明灯（保護枠付）を取り付け、床部にはスノコを敷くとともに有効な水抜き穴を設け、効果的に排水できる構造とすること。（構造については、当市担当者と十分に協議をすること。）

- (3) 格納箱の上部に消防ホース（Φ65mm×20m）10本以上の重量に耐える棚を設ける。棚板は縞鋼板（縁はプレス折り曲げ）とし、周囲にステンレス製の手すり（高さ20cm程度）を取り付け、スノコ板を敷くこと。
- (4) ホース収納棚部には、防水カバーを取り付けること。
- (5) ボディー左右側ステップ下後輪付近に、格納箱を設けること。
- (6) ボディー後部両側に乗降用のSUS製把手を取り付ける。
- (7) ボディー後部に乗降用のステップを取り付ける。
- (8) ドア・標識灯・シャッター扉・バンパーの文字は反射カッティングシートを使用し、仕様については艀装明細一覧のとおりとする。
- (9) 水の溜まる恐れのある箇所には、水抜き穴を設けること。
- (10) 車体に「石油貯蔵施設立地対策等交付金施設」の文字を表示すること。（表示場所については、当市担当者と十分に協議をすること。）

6. 取付品及び付属品関係

取付品及び付属品の積載については、振動等によるゆるみや脱落の無い構造にて取り付ける。積載金具については、さらに脱着が容易であること。

- (1) スピーカー内蔵型の赤色回転灯をキャブ上部中央に取り付けること。
- (2) スイッチ付LEDフレキシブルマップランプを助手席側フロントピラー付近に設けること。
- (3) 上下伸縮可能なLED式照明灯（サーチライト・PCH1-P）は、ボディー右側前方及び左側後方に対角に取り付け、各々にスイッチを保護枠付で取り付けること。（スイッチの場所については、当市担当者と協議すること。）
- (4) 標識灯及び電動サイレンは、赤色回転灯内蔵（一体型）とすること。
- (5) 消防団章（団マーク）を、キャブ前面中央部に取り付けること。
- (6) 旗立装置をボディー左側前方に取り付けること。（出勤・訓練の旗を含む。）
- (7) 吸管をボディー後部左（右）側板外部に積載すること。
- (8) 自動車用消火器をボディー後部左（右）側吸管巻内に積載すること。
- (9) 車輪止めをボディー後部左（右）側板外部に積載すること。
- (10) アルミ製2連はしごをボディー右（左）側上部に積載すること。
- (11) 消火栓開閉金具（大箱回し）右側板外部に、消火栓蓋キー（2本）をボディー右（左）側板外部に積載すること。
- (12) 管鎗立て（2箇所）をフェンダー後部ステップ上に取り付けること。
- (13) とび口は、ボディー左（右）側の吸管巻き部の上方に積載すること。鳶口先にはカバーもしくは車両に受け口を取り付けること。
- (14) 剣先スコップ及び角型スコップ、金てこは、ボディー後部右（左）側板内部に積載すること。
- (15) ホースブリッジは、ボディー後方に積載すること。
- (16) LED式赤色点滅灯は、キャブ前部及びボディー後部に各2箇所保護枠付で取り付け

- ること。また、ボディー後部側面あおり部に左右各1箇所保護枠付きでLED式赤色点滅灯を取り付けること。（取付け位置は当市担当者と協議すること。）
- (17) ボディー後部にスタンドパイプの積載装置を取り付けること。（スタンドパイプについては分団既存品を使用すること。）
- (18) ボディー後部に無反動ノズルの積載装置を取り付けること。（無反動ノズルについては分団既存品を使用すること。）
- (19) ボディー後部（シャッター付収納庫付近）車体上部に、超高輝度LED作業灯（PELCC12V）を設置する。
- (20) ボディー後部左右側板に超高輝度LED式作業灯（PELCC12V）を各1箇所設置する。
- (21) CDプレーヤーは、外部スピーカーに接続すること。
- (22) 機装状況によりバッテリーの消耗に支障が生じる場合はバッテリーの交換をすること。
- (23) ボディー後方右（左）側外部に棒吸管（2m）の積載装置を取り付けること。
- (24) ボディー後部にホース延長器を積載すること。
- (25) ボディー後部に分岐管の積載装置を取り付けること。
- (26) ボディー後部にディスクストレージの積載装置を取り付けること。
- (27) ボディー後部に斧を積載すること。
- (28) ボディー後部に掛矢を積載すること。
- (29) 資機材の固定は、極力現物に見合った固定装置とし、固定装置が取り付け不可能な場合はベルト等を使用し、簡便に着脱できるものとする。

<記入文字仕様>

・標 識 灯

「記入文字」	59	左横書きとする
「字体・文字色」	丸ゴシック体	・ 黒色文字
「文字の大きさ」	縦 80 mm	× 横 50 mm

・キャブ両側両ドア

「記入文字」	神 栖 市 消 防 団	第 五 十 九 分 団
	（運転席側） 右横書きとする	（助手席側） 左横書きとする
	（前方ドア） 6文字記入	（後方ドア） 6文字記入
「字体・文字色」	丸ゴシック体	・ 金色文字（黒色縁取り）
「文字の大きさ」	縦 100 mm	× 横 100 mm

・シャッター扉

「記入文字」	『 5 9 』	左横書きとする。
「字体・文字色」	丸ゴシック体	・ 反射黄色文字（赤色縁取り）

・バンパー

「記入文字」	R. 2. 2	左横書きとする
「字体・文字色」	丸ゴシック体	・ 白色文字

<別添 1>

小型動力ポンプ仕様

1 概 要

- (1) 小型動力ポンプは技術上の規格を定める省令に合致していること。
- (2) 小型動力ポンプはISO9001・14001の認証工場製品であること。

2 規 格

- (1) 日本消防検定協会の受託試験合格品であること。
- (2) B-3級 とする。

3 エンジン

- (1) 2気筒水冷2サイクルガソリン式とする。
- (2) 総排気量617mL以上とする。
- (3) 出力30kw以上とする。
- (4) 無接点(CDI)マグネット点火方式またはC.D.イグニッション式(交互発火式)とする。
- (5) 分離給油方式とする。
- (6) インジェクション方式又はキャブレター方式とする。
- (7) セルスターター式、リコイルスターター式始動方式とする。
- (8) 排水が無くポンプ周辺や足元を濡らさない安全&クリーンな冷却水循環方式とする。

4 ポンプ

- (1) 1段タービンポンプとする。

5 真空ポンプ

- (1) 無給油式4翼偏心ロータリ真空ポンプ(大型ストレーナ付)とし、ブレードの材質は耐久性に優れたPEEK材または、カーボン素材とすること。

6 自動吸水機能

- (1) 自動/手動の切替スイッチが付いた構造とし、エンジンを始動するだけで、スピード吸水ができ、吸水できない時にはエンジンが自動停止すること。

7 放水弁

- (1) クイックバルブ式(ボールコック)または、オプティバルブ式(ボールコック)とする。

8 計器類

- (1) 夜間の視認性を向上させたランプ内蔵型圧力連成計を使用すること。

9 保安装置

- (1) 空運転や冷却水不足によるエンジンの異常加熱を未然に防ぐ構造とすること。

10 環境性能

- (1) 密封式で電解液補充の必要がない、バッテリーを使用すること。
- (2) ポンプに常時接続したままで保管できる、自動充電器を装備すること。
- (3) 低騒音及び低排煙に考慮した構造とすること。

11 付 属 品

- (1) 充電器、整備用工具、ポンプカバー

12 提出書類 ポンプ納入時、次に掲げる書類を提出すること。

- (1) 取扱説明書
- (2) 試験成績書
- (3) 検査合格書の写し
- (4) 簡易的なポンプ取扱説明書

13 その他

- (1) 視認しやすい位置に反射材を使用した「神栖市消防団」及び「第59分団」の文字を表示すること。(表示位置、字体、サイズ等については、市と協議すること。)
- (2) 納入後、毎年、無償のポンプ点検を行うこと。なお、開催日時、開催場所等は、当市担当者と十分な協議の上、決定すること。

<別添 2>

小型動力消防ポンプ昇降装置仕様

- (1) 本装置は電動油圧式シリンダー，ポンプ積載台及び引き出しレールで構成され，ポンプ積み降ろしは，車輪付きアーム型伸縮装置により，リアステップに干渉することなく，安全，かつ容易な積み降ろしができる構造とすること。
- (2) 電動式アーム型伸縮装置には，手動で昇降できる機能も備えること。
- (3) 昇降距離は，500mmとすること。
- (4) 許容荷重は，150kgf（本機昇降部含む）とすること。
- (5) 電源は車両バッテリー（DC12V）と接続すること。
- (6) シリンダー作動部に保護カバーを施し，露出しない構造であること。
- (7) 引き出しレールはベアリングを使用し，簡易に昇降装置を引き出し収納できると。
- (8) ポンプ積載部の床面に，必要数の水抜き穴を設けること。

第3章 提出書類

1. 受注者は製作に先立ち、次のものを各3部提出し市の承認を得ること。

- (1) 設計承認図（4面図）
- (2) 製作工程表
- (3) その他、指示するもの。

2. 車両納入時、次のものを提出すること。

- (1) 自動車検査証の写し 1部
- (2) 車両前後左右の写真 5部
(カーサービス版、カバープレートの入っているもの)
- (3) 納品明細書 1部
- (4) 茨城県公安委員会に提出する緊急自動車指定の届出書類一式
- (5) その他、指示するもの

第4章 納入期限及び検査関係

1. 納入期限は、令和2年2月7日までとする。

2. 市に提出した製作工程表に基づき、中間検査、完成検査が実施できる状態で日程を組むこと。

3. 中間検査実施依頼は、中間検査実施予定日の7日前までに、市に連絡すること。

4. 検査にあたっては、営業及び設計担当者が必ず立ち会うこと。

5. 検査時期

- (1) 中間検査（外部塗装直前に取付品を仮止めの状態で行う。）
- (2) 完成検査（納入時に行い、その結果不合格と認めた場合には、直ちに修正の上、再検査を受けること。）
- (3) その他、当市が必要と認めたとき。

6. 補足

当該物品の納入後、点検、保守、その他のアフターケア及びメンテナンスについて、以下の通り、長期間にわたり適切かつ迅速に対応できる体制が整備されていること。

- (1) 点検整備及び修理依頼から着手まで24時間以内に対応すること。
- (2) 部品供給体制が整備されており、可能な限り早急に対応すること。
- (3) 技術担当者の派遣体制が整備されており、修理依頼から現地到着まで24時間以内に対応すること。

第5章 その他

1. 車両の搬入は受注者が行い、納入に至るまでの検査、保険及び故障に要した費用の一切は受注者の負担とする。

2. 車両購入にかかるすべての諸費用（法定費用及びその他諸費用/検査登録手続代行費用・納車費用等）は受注者負担とする。

※法定費用とは、検査登録手続預り法定費用・リサイクル法関連費用・自動車賠償責任保険・自動車重量税をいう。

3. 納入後1年以内に生じた設計、資材、その他工作上の不備による故障または破損の一切は受注者の負担とし、速やかに修理すること。

4. 仕様書中に表現出来ない技術的な内容が含まれているので、それらの部分について、受

注者は、当市担当者と十分な協議を行い、積極的に取り入れること。また、仕様上の変更点が生じる場合には、当市担当者と十分な協議を行い、承認を得ること。

機 装 明 細 一 覧

1 取付品及び取付装置

No.	品 名	数 量	備 考
1	散光式赤色回転灯	1 式	ALD-M1FYFR-RR-53N
2	電子サイレンアンプ・マイク	1 式	SAP-520FBV (DC12V用) ・SDM-11
3	CDプレーヤー	1	シャーシ付属
4	前部及び後部赤色点滅灯	各2	左右 LP3-M1-R 保護カバー付
5	後部左右側面赤色点滅灯	各1	LP5-M1-R 保護カバー付
6	後退警報ブザー	1	バックブザー、シャーシ付属品
7	照明灯(サ-ライト)	2	PCH1-P (DC12V用)
8	無線受令機取付	1 式	既存の無線受令機を新規車両へ移設
9	消防団章	1	団マーク
10	ドア・標識灯・シャッター扉・ バンパー文字入れ	1 式	キャブ両側面ドア、標識灯、シャッター扉、バンパー (カッティングシート)
11	旗立装置	1 式	旗含む(出勤・訓練 各1 白地赤文字)
12	サンバイザー	2	運転席、助手席
13	サイドバイザー	4	運転席、助手席、後部席左右
14	替口立て	2	
15	ドライブレコーダー	1	シャーシ付属
16	バッテリー管理器	1	100Vマグネット式コンセントコード付
17	スタンドパイプ取付装置	1	
18	無反動ノズル取付装置	1	

【付属品】

No.	品 名	数 量	備 考
1	自動車用消火器	1	ABC粉末20型
2	車輪止め	2	ゴム製
3	はしご	1	2連はしご・アルミ製・KHRF-36
4	タイヤチェーン	1式	シングル
5	金てこ	1	1,200mm
6	消火栓金具	1	75mmネジメス×65mm差込メス (PR-75)
7	消火栓開閉金具	1式	FHバール×1, 消火栓蓋キー×2
8	とび口	2	1.8m
9	剣先スコップ	1	
10	角型スコップ	1	
11	ホース延長器	1	軽量 (ホース3本用) カバー付, 車輪付
12	吸管	各1	75mm×6m (NEW LF-18) 75mm×2m (棒吸管)
13	棒吸管	1	75mm×2m
14	ストレーナー内蔵型ちりよけかご	1	75mm用・16SKGF3P
15	吸管枕木	1	ゴム製
16	管そう	2	スーパーストリーム65mm用
17	ノズル	2	20mm, 23mm
18	可変噴霧ノズル	各1	ダブコンノズル, プロコンペS・H・U・N
19	消防用ホース	3	65mm×20m 1.3MPa (SP-H-AAA)
20	分岐管	1	WB-65MC
21	ホースブリッジ	1	ゴム製 シングル
22	ホースカバー	1	
23	ホースバンテージ	5	BE-001-65
24	ポンプ電動昇降装置	1	SW500-PC
25	LED作業灯	3	PELCC12 (12V)
26	小型動力ポンプ	1	(B-3級・自動吸水機能付) (充電器, 工具, ポンプカバー付)
27	ディスクストレーナ	1	D75S
28	ホース巻き取り機	1	ホースマックPRO
29	携行缶	1	20ℓ
30	自動中継弁ダイレクトバルブ	1	
31	消火栓蓋開閉金具	1	日之出36型バール
32	井戸式消火栓用媒介	1	Φ75角付町メス×Φ100ネジオス
33	斧	1	グラスファイバー製柄
34	掛矢	1	グラスファイバー製柄
35	ポータブルライト (三脚付)	1	LF35A (AC100V), LF35TP

